

平成30年度第2回小田付地区意見交換会

ニュースレター

平成31年2月 喜多方市役所建設部建設課まちづくり推進室

小田付地区では、平成15年10月の会津北方小田付郷町衆会の結成より、東京大学都市デザイン研究室（当時）とともに、蔵の活用やイベント開催、まちづくり塾などの勉強会に取り組んできました。平成22年9月に「小田付蔵のまち景観づくり協定」、平成24年3月には「小田付地区まちづくり整備方針」、平成25年3月に「小田付地区まちづくり整備計画」を策定し、合わせて計画推進の活動母体として「小田付まちづくり協議会」を設立して、地区住民や関連団体、行政等が一体となったまちづくりに努めて参りました。

これらの成果が認められ、昨年国の「重要伝統的建造物群保存地区」に正式に選定されたことを踏まえ、これまでのまちづくりの軌跡をふりかえりながら、「小田付地区まちづくり整備計画【重伝建版】」として刷新し、改めて皆様の意見を伺いながら、今後の小田付地区の将来像を共有し、蔵のまちなみを活かしたまちづくりをより一層推進していくため、今回『平成30年度第2回小田付地区意見交換会』を開催しました。

平成30年度第2回

小田付地区意見交換会 の開催報告

第2回意見交換会は、次のような内容で行いました。

1. あいさつ
2. 小田付地区まちづくり整備計画「重伝建版」(案)の説明
3. 重要伝統的建造物群保存地区制度についての説明
4. 意見交換
5. 横浜国立大学 野原 卓 准教授からのアドバイス
6. まとめ

H31.2.21 (木) 18:30 ~

於：会陽館（東町）



これからの **まちづくり** と **課題** こんな話し合いとなりました



● 小田付地区まちづくり整備計画「重伝建版」(案)の説明

はじめに、小田付地区のまちづくりの軌跡

「蔵してる通りフェスティバル」やまちづくり塾、また南町2850プロジェクトといった、平成15年からの様々な取り組みについて振り返りました。

1. 基本的な考え方

地割や水路、風情ある町並みを形成する重要な資産など、小田付地区のまちの魅力について確認しました。

2. まちづくり全体整備方針

表通りだけではなく、うらみちまで含めた奥行きのある生活空間の豊かさを継承、創出していくため、「暮らし続けられるまちづくり」の整備方針を改めて確認しました。

3. まちづくり全体整備計画

主な取り組みとして、①重伝建制度を活用した保存事業、②道路・沿道空間整備（回遊ルートの整備）、③おもてなしのための整備、④暮らし再生のための整備を目指していくこと、その課題について確認しました。

4. エリア毎のまちづくり整備計画

各エリアの特徴をいかにしながら、小田付地区を4つのエリアに分け、それぞれの整備の方向性について確認しました。

5. まちづくりの持続を目指して

国や行政の事業の推進・支援とともに、重伝建制度の理解と活用の向上、またいまからでもはじめられる身近な取り組みも重要であることの理解を深めました。

● 主な意見

まちづくりの最終形・整備の期間について

・整備は何年かかるのか？いつごろできあがるのか？

- ・次の世代に引き継ぐために、ずっと続けていくもの
- ・重伝建制度に期限はない。

情報の共有、意見の反映・発信方法について

・意見がきちんと反映されるのか、その後の説明や対応を。
・この場だけでなく、意見や相談がある際に気軽に問合せできる窓口がほしい。

- ・現時点で頂いた意見は計画に反映し、今後も情報共有の場、fax等による問合せの窓口を検討する。

今後の進め方について

・この全体計画のイメージの共有が先だったのではない？
・私有地も含めての整備計画、イメージになっている。それぞれの所有者の意見が必要でないか。
・総論は特に意見はない。具体的な各論になれば意見が出てくるので、その時の対応が重要。
・今でも参加者は少ない。エリア分けは必要か？

- ・行政が主体で進めていくもの、住民の方々が取り組んでいくもの合わせての全体整備計画であり、今後の具体的な整備や進め方に関しては、その都度方法を検討していく。

● 横浜国立大学 野原 卓 准教授からのアドバイス

蔵やまちなみが残っているのはもちろんだが、伝建地区というのは、小田付が「知恵を受け継いできたまち」ということ。重伝建地区に選定されても、何も取り組まなければ何もおきないので、「暮らし続けられるまちづくり」として、変えていくところは変えていき、今後も使い続けながらまちをつないでいくことが大事。まちの中のたったひとつが悪くなっただけなら何も感じないが、それが段々増えていくと手遅れとなりまちは壊れる。今回の全体計画でまちの目指す方向を確認し、みなで気にしながら常に自分たちのまちを見直していき、丁寧にまちを紡いでいってほしい。

問合せ

喜多方市 建設部建設課
まちづくり推進室
TEL：0241-24-5240

今回頂きました意見につきましては、現在刷新中の整備計画に反映していきます。また進め方についても随時調整しながら、皆様のご協力のもと、今後も意見交換会を開催していきます。